

11月は国が定めた児童虐待防止推進月間です。

## こどもへの体罰禁止

体罰禁止の法改正にも関わらず、未だ誤った理解による「しつけ」と称した体罰が行われています。

虐待の温床にもなり得る体罰が社会からなくなるよう、市民の皆さまと認識を共有したいと思います。



教育委員会

品川（スクールソーシャルワーカー）

### 「家庭の孤立」を防ぐことが体罰のない社会への第一歩

体罰からどのようなものをイメージしますか。実は、家庭内でも「しつけ」と称した体罰が起こることがあります。この背景には、経済的困窮やこどもの特性など多くの問題が複雑に絡み合っていることが多く、ひとつの要因だけで起こるものではありません。そして問題を抱えた家庭は社会から孤立していることがあります。

大切なことは、社会全体で家庭が孤立することのないように支えていくことです。それがこどもの権利が守られる社会へと繋がっていきます。

### 妊娠・子育ての不安や悩みに寄り添い、応援します。

妊娠中の生活について不安だったり、赤ちゃんが泣き止まず戸惑ったり、上のお子さんとの関わりで悩んでしまったり・・・時期ごとに不安や心配は変わっていきます。

スマホを開けば色々な情報はありますが、見れば見るほど余計に心配になったという声も耳にします。

私たちは、お母さんたちの困りごとに寄り添い、微力ですが、一緒に考えられたらと思っています。困ったこと、心配なことがあれば、遠慮なく気軽にご相談ください。



母子保健係  
原田（保健師）



子育て支援センター  
村島（保育士）

### みんながつながり、育児を支えあう場所があります。

子育て支援センターでは子育ては親だけが「孤育て」（孤独な子育て）するものではなく、身近な人々や地域の協力、そして周囲が理解することが必要であり、大切であると考えています。ここで様々な世代の人たちと楽しく関わることで、地域とのつながりができ、《こどもを真ん中に》みんなで温かい子育てができる場所を作っていきたくと願っています。

家での遊びや、こどものかかわり方などで困ったときは、ぜひ一度遊びに来てください。

子育ては、楽しいけど大変なこともたくさん。困ったら、抱え込まずにまず相談。

▶▶ 市のこども家庭総合相談窓口 直方市役所2階 子育て・障がい支援課 ☎ 0949-25-2319

▶▶ 「虐待かも!？」と思ったとき 児童相談所虐待対応ダイヤル（24時間対応、通話無料）☎ 189



## Q1.

### しつけとどう違うの？

A. しつけは社会性を育む行為です。

しつけは、こどもの人格や才能を伸ばし、社会で自律した生活を送れるようにサポートすることです。どうすればいいのか説明や見本を示すなどの本人が理解できる方法で伝える必要があります。

## 体罰について考える



## QUESTION

—— クエスチョン ——

体罰に関する正しい知識を理解し、皆で「愛の鞭」を捨てましょう。  
直方市は、体罰等によらない子育て社会の実現を推進します。

## Q4.

### 私のこどもなんですよ？

A. こどもは人として尊ばれます。

大人に対する叩く、殴る、暴言を言う等の行為が人権侵害として許されないのと同様に、こどもも尊厳を有する人権の主体であり、「しつけ」と称して叩く等の行為は親子間であっても許されません。

## Q3.

### 体罰って具体的にどんなこと？

A. 例えば、以下のようなことです。

- ・言うことを聞かないので、頬を叩いた
- ・いたずらをしたので、正座をさせた
- ・友達にケガをさせたので、殴った
- ・他人の物を取ったので、お尻を叩いた
- ・宿題をしないので、ご飯を与えない

## Q2.

### 体罰って何ですか？

A. 体罰は、百害あって一利なしです。

体罰は、こどもの身体に何らかの苦痛を引き起し又は不快感を意図的にもたらず行為（罰）です。体罰が繰り返されると、心身に様々な悪影響が生じる可能性があります。

## Q7.

### どうすればいいですか？

A. 工夫を試みて難しいときは相談を。

体罰がよくないと理解していても、いろいろな状況や理由によって難しいと感じることがあります。子育てに困ったとき、うまくいかないと感じたときは、周囲の力を借りると解決することもあります。

## Q6.

### 少なからいいでしょう？

A. 軽い行為でも体罰です。

体罰に否定的な保護者でも「お尻を叩く」「手の甲を叩く」など、個別の体罰については容認する調査結果がでています。しかし、例えどんなに軽い行為でも体罰に該当し、法律で禁止されています。

## Q5.

### 叩いて育てるとどうなるの？

A. 正しい愛情と知識をもちましょう。

叩かれ、怒鳴られたこどもは、恐怖心から一時的に大人の言うことを聞きます。しかし、このことが人との衝突や対立の解決のためには暴力を用いてよい、とこどもが学ぶきっかけになり得ます。



## 体罰禁止に関する世界の動き

59カ国目  
2020/02/28

体罰禁止の取り組みは世界中で広がっています。日本は体罰禁止の国内法改正を経て、59番目の体罰全面禁止国として国際的に認められました。